

令和4年度 予算のあらまし



市ホームページ

<問合せ> 財政課 (☎34・6614、FAX32・9479、✉zaisei@city.toyota.aichi.jp)

▶ 令和4年度の主な事業

新型コロナウイルス感染症対策

■ ワクチン接種の実施

22億4,771万円

接種体制を構築し、希望する市民を対象にワクチン接種を実施します。



■ PCR検査などの実施

3億3,593万円

■ こども園・学校などにおける感染症対策の徹底

1億4,334万円

※ 3月補正分1,990万円を含む

■ 飲食事業者への支援・消費喚起事業 新規

1億5,604万円

■ 宿泊事業者などへの支援・消費喚起事業 拡充

10億4,000万円

■ 新しい生活様式に対応した店舗支援 拡充

1,240万円

商業者などが実施するITを活用した新サービスの導入や情報発信などに関する経費に対して補助をします。また、新たな分野の展開、業態・業種転換、事業再編などに係る経費への補助制度を新設します。

重点施策1 超高齢社会への適応

■ 官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」

1億596万円

高齢化の進展やコロナ禍における高齢者の外出抑制に伴う介護リスク上昇に対応するため、民間の知見を活用した成果報酬型の介護予防事業を実施します。



■ 高齢者への移動支援

4,202万円

日常生活において、移動が困難な介護認定のある高齢者に対し、通院や買い物などの外出を支援するため、タクシー料金の助成を行います。

■ 介護人材確保の推進 拡充

1,469万円

多様な担い手の創出、介護職員のスキルアップ、介護サービス事業所の職場環境向上などの支援を実施します。また、介護人材の定着とサービスの質の向上を図るため、研修受講料に対する補助金を新設し、介護サービス事業所を支援します。

■ (仮称) 地域生活意思決定支援事業 新規

272万円

金銭管理や生活支援など権利擁護支援のニーズに対応するため、地域生活における意思決定を支える体制づくりに向けたモデル事業を実施します。

重点施策2 「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

■ 中小企業などのカーボンニュートラルの促進 新規 5億600万円

再生可能エネルギー創出などの設備導入経費の支援をします。また、講座の開催やCO₂削減などの相談に応じる窓口の設置により、脱炭素経営を支援します。



■ 中小企業のデジタル化に対する支援 拡充 3億300万円

■ 次世代航空モビリティの産業化の促進 新規 350万円

市民への普及啓発や、市内企業などの新規参入を促すための支援をします。

■ 山村地域への移住・定住の促進 拡充 2,791万円

■ 子育て施設でのICT活用 拡充 6,271万円

■ ICTを活用した学習環境の整備 拡充 7億6,306万円 ※ 3月補正分 1億8,280万円を含む

児童生徒一人ひとりに応じた学習と協働学習の充実を目指し、タブレット端末の活用を促進します。また、学力向上のため、デジタルドリル教材を導入します。



■ ラリーを生かしたまちづくりの推進 拡充 3億3,360万円

世界ラリー選手権、地方ラリー選手権、トヨタガズーレーシングラリーチャレンジの開催支援と地域振興につながるイベントを実施します。また、豊田市が運営主体となる令和5年から7年の3年間の世界ラリー選手権について、招致や開催準備を進めます。

■ ラグビーイベントの開催 新規 500万円

重点施策3 まちの課題解決力の強化

■ SDGsの達成に向けた取組の推進 拡充 1,200万円

■ 家庭・学校・地域の共働の推進 5,196万円

■ スマート窓口の構築 新規 6,270万円

利便性と事務処理効率の向上のため、転出入や転居の届出窓口においてデジタル技術を活用した(仮称)窓口支援システムを構築します(令和5年6月稼働予定)。

■ デジタルツールを用いた市民サービス向上の推進 新規 310万円

■ キャッシュレス決済の導入 拡充 3,108万円

市役所の主要窓口や公共施設などにキャッシュレス決済を導入します。

■ 衛星画像を用いたAIによる農地判定の実施 新規 665万円

■ 市業務システムなどの整備 新規 2億8,532万円

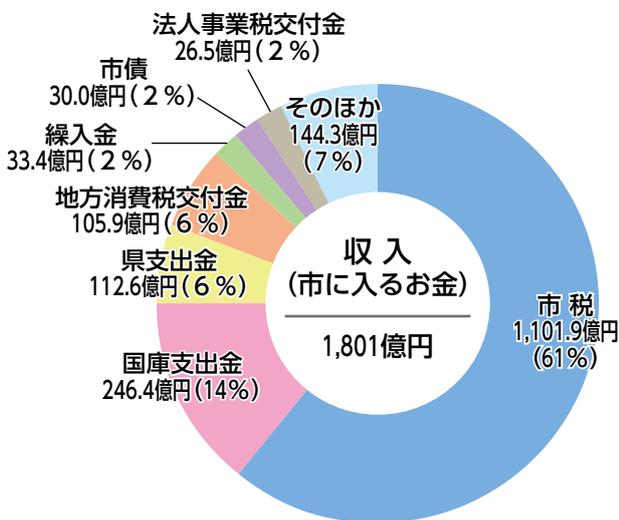
行政事務の効率化のため、国の定める標準準拠システムへの移行計画の作成、新たな庁内ネットワーク環境の構築、マイナポータルと市業務システムが連携するための基盤を整備します。

令和4年度当初予算



● 一般会計 1,801億円 前年度比0.2%△

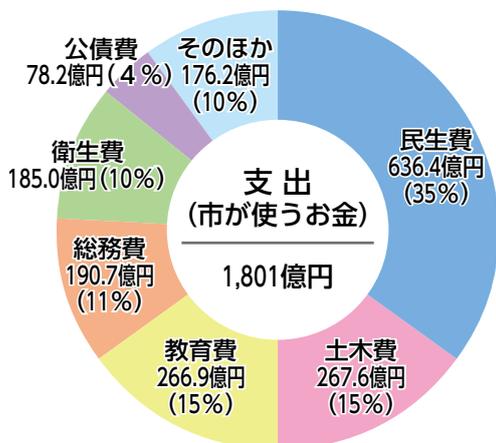
■収入



- 市税** 市民の皆さんや事業所などが納めるお金
- 国庫支出金** 使い道が決められている国から入るお金
- 県支出金** 使い道が決められている県から入るお金
- 地方消費税交付金** 地方消費税のうち県から配分されるお金
- 繰入金** 主に基金(貯金)を取り崩すお金
- 市債** 国や銀行などから借りるお金
- 法人事業税交付金** 法人事業税のうち県から配分されるお金
- そのほか** 使用料や手数料[※]

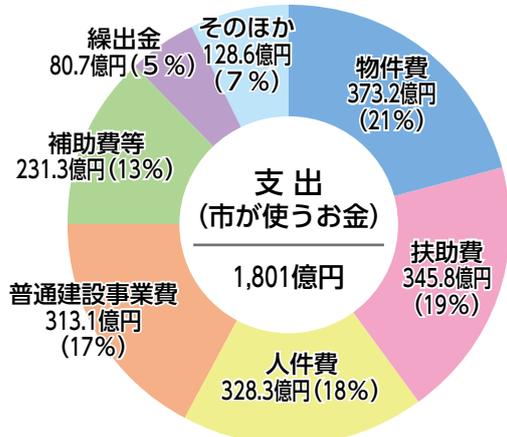
固定資産税	422.7億円	(38%)
個人市民税	304.9億円	(28%)
法人市民税	218.2億円	(20%)
都市計画税	43.2億円	(4%)
そのほか	112.9億円	(10%)

■支出(目的別)



- 民生費** 高齢者や障がいのある人、子育てなどを支えるためのお金
- 土木費** 道路や公園などを整備するためのお金
- 教育費** 学校整備やスポーツ・文化などを盛んにするためのお金
- 総務費** 地域振興や庁舎管理、選挙などのお金
- 衛生費** 病気の予防、ごみ処理や環境を守るためのお金
- 公債費** 借入金(市債)を返すためのお金
- そのほか** 消防費や商工費、農林水産業費[※]

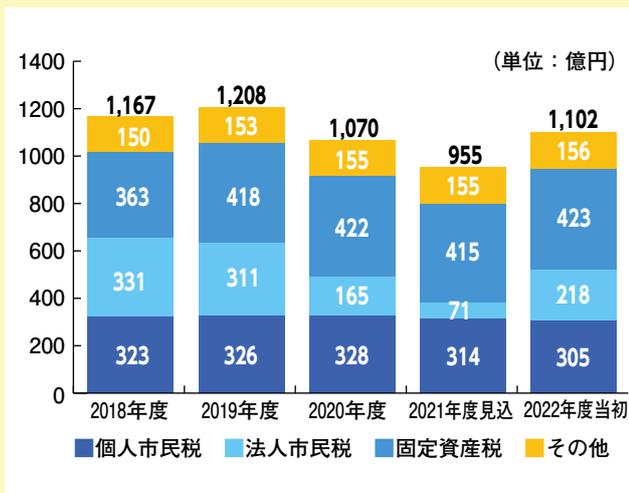
■支出(性質別)



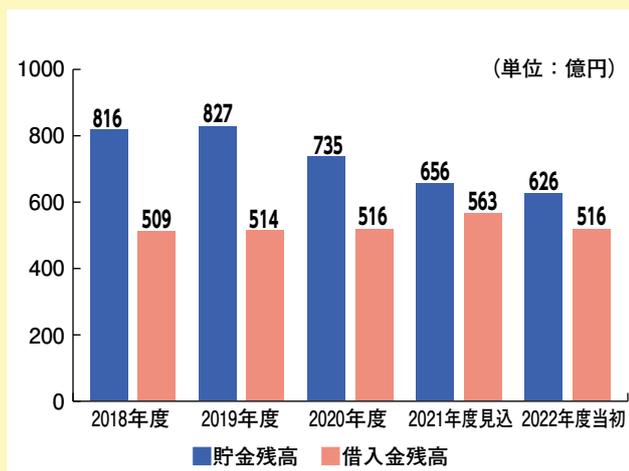
- 物件費** 施設の維持管理費[※]
- 扶助費** 児童手当・生活保護費[※]
- 人件費** 職員の給与[※]
- 普通建設事業費** 道路や建物の建設[※]
- 補助費等** 補助金[※]
- 繰入金** 特別会計などへの補てん
- そのほか** 積立金・公債費[※]



市税の推移



貯金残高と借入金残高の推移



目的のある収入の使い道

都市計画税	43.2億円
区画整理	9.2億円
街路事業・公園整備	17.6億円
下水道事業への負担金・出資金	2.5億円
市債の償還(元金)	13.9億円
森林環境譲与税	1.6億円
森林整備	1.1億円
人材育成	0.3億円
木材利用・普及啓発	0.2億円
地方消費税交付金 社会保障財源分	56.6億円
療養給付費負担金	11.1億円
介護給付費繰出金	9.5億円
教育・保育給付費	5.3億円
定期予防接種費	5.1億円
子ども医療助成費	5.0億円
その他	20.6億円

将来のまちづくりへの投資 313億円

- 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業
- (仮) 豊田市博物館建設事業
- 豊田地域医療センター再整備事業
- 土地区画整理事業
- 特別養護老人ホーム等整備事業 など

● 特別会計 696億3,509万円 前年度比0.3%↓

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して設置する会計で、その特定の収入をもって特定の支出に充てるものです。

国民健康保険、介護保険、土地区画整理など10会計があります。

● 企業会計 364億5,030万円 前年度比3.8%↓

企業会計とは、独立採算制を原則とする企業的色彩の強い事業の会計です。

水道事業会計と下水道事業会計の2会計があります。

総額

2,861億8,539万円 前年度比0.5%↓

